



議 会 政 治 と 婦 人

1948年 12月 N03



労働省婦人少年局



婦 人 候 補 者 に つ い て

婦人はかならず婦人候補者に投票しなければならぬということはありません。男子の候補者で婦人の候補者よりすぐれた人のいる場合には、その男子に投票して結構です。けれども、民主主義政治のため、婦人の地位の向上のためには、婦人のほんとうの気持ちや、日常生活の担当者としての婦人の労苦を最もよく知る婦人代表者を、議院に相当数送ることが必要です。そのためには多くのすぐれた婦人候補者の進出がのぞましいことです。

風 俗 と 情 實 に よ る 投 票 は や め ま し ょ う

ほんとにまじめな気持ちで、日本の政治はこうでなくてはならないという信念のもとに投票した人が今までにどれだけあったことでしょうか？ 色々な個人的な利害関係から投票が行われたことがすくなくありませんでした。情実で投票を左右されるのは、金や御馳走で自由になるほど悪くないように見えて、実は同じようにまわがっているのです。一方は利益、一方は感情のために、政治という公の問題を正しく取扱うことができないので、どちらも政治的訓練の乏しさ、知識水準の低さからくる政治道徳の低さを示すものであり、これは國民の恥というはかりません。

選 權 は あ る く ま で 選 け ま し ょ う

私共の投票は人のためではなく、自分自身のためにするものです。もし私共が勝手にこの権利をすてたら、それは日本がどうなるうとかまわず、自分達の生活が此上どんなに苦しくなつてもかまわないのだというにひとしいのです。何とかして少しでも生活を樂にしよう。働きがいのある世の中にしようと思つたら、この一票を活かさなければなりません。中には理想の人がいないからといって棄權する人がありますが、棄權をすることは結果において、悪い候補者に味方することになるのですから、そういう場合は立候補者中の最もよい人に投票するのが民主主義の精神です。

議員は國民の代表になつて國の政治をする人ですから、自分の身代りと思つて立派な人をえらばなければなりません。女の人達は今まで家庭以外の世間にあまりふれていないので、立候補者をえらぶにもごく狭い低いところの標準をおきがちです。たとえは今までの政治家は皆持合入りや表をおいたりするからいけない、そういうことをおしなない人というような条件をもつ人が相當多いのです。これはそれ自体として勿論結構です。それどころかたしかに一つの條件といえましよう。けれども、どんなに品行が正しくても、封建的な頭の人では、社会問題労働問題が中心となつていくこれからの政治をさばく力はありませんし、日本の社会をほんとうに民主化することもできないのです。議員としては國民、特にその大部分を占める働く人々を代表するだけの識見と才能をもつことが必要であります。立派な候補者をえらぶには、できるだけ演説会にも行き、ラジオや新聞、公報などにも注意し、候補者の政見をよく知ることが大切です。

議會政治と婦人

政治とは女、子供に關係のないものと思えてゐる人が現在でもすくなくありますが、政治は私共の生活に切りはなすことのできないものです。又私共婦人に理解できない、むづかしいものではなく、國民の一々々々が楽しく、幸福に暮らすことができるようにすることが政治なのです。

衣食住の問題、教育の問題など、婦人にも色々の希望があるはずで、困る／＼とかげでぐず／＼いう代りに、議論で困るわけをよく話し、少しでも困らないようにする政治をやるのが参政權を借かすことです。

國會と婦人の生活

衆議院と参議院とで日本國々會とよばれ、國體の最高機關であります。直接政治を行う政府の首班、即ち内閣總理大臣の任命も從來は天皇がされましたが、新憲法では國會が指名することになっています。そして政府から提出した法律や予算等はこゝで、私共の代表である議員が相談し、決定するのです。従つて、食糧をはじめ生活必需品の統制、配給の問題も、税金や物價の問題も、失業対策や住宅対策も、又戦争其他で夫を失つた事婦や遺児をまもるための社会施設の問題も、皆この國會で決められることを思えば、私共婦人も衆、参議院の選挙に無関心ではいられないわけです。

衆、参議院共に専門委員会（内閣、人事、地方行政、經濟安定、法務、外務、大蔵、文部、厚生、加工、農林、水産、運輸、通信、労働、建設、予算、決算、議院運営、図書館運営、懲罰）の各常任委員会の他に、参議院には在外同胞引揚問題に関する特別委員会があります。）が設けられていて、議員は各自の職能に應じて各々の委員会に属してびます。法案はすべて委員会で充分審議されてから本會議に上程され、こゝで可決されれば法律として公布されるのです。

なや、現在の國會議員の黨派別は次の通りになっています。

衆議院（昭和二十三年十一月二十七日現在）

民主自由黨	一五三	日本社会黨	一一一	民主黨	九〇	國民協同黨	三〇
社会革新黨	二〇	労働農工黨	一一	新自由黨	一一	第一議員俱樂部	八
日本農民黨	七	日本共產黨	四	無所属	三	合計	四四八
欠員	一八八						

参議院（昭和二十三年十月二十一日現在）

緑風會	七七	民主自由黨	四八	民主黨	四四	日本社会黨	四〇
無所属懇談會	一九	新政クラブ	七	日本共產黨	四	諸派及び各派に屬せざるもの	五
合計	二四四						
欠員	六						

候補者をえらぶには

一、どんな政黨を？

議會政治は政黨政治であり、政黨の力で政策が実行されていくのですから、個人よりも黨に重きを置いて投票しなければなりません。

政黨とは政治の仕方について同じ考えをもつた人の集りです。政治のやり方は議員個人の考えよりも政黨の考え方でできるわけですね。多數の議員をもつ有力な政黨が内閣をつくることになるのですから、政黨をまらぶことは私共がやつてほしいと思ふ政治を、すぐやつてくれる政府をえらぶことになります。どの政黨も政治のやり方を定めた政綱（綱領）というものをもつており、それをよく研究して人衆取りの看板だけではない、ほんとにそれを実現してくれるかどうかを見定めねばなりません。

一、憲法や民法が改正されてもまだ残つてゐる封建性を打破すると共に、男女間の實質的な不平等を改め、眞の民主主義政治確立のための政策をもつもの。

二、インフレーション防止、失業対策、産業復興、食糧問題、配給制度の改善等、國民大衆の生活の安定に適切な対策をもつもの。